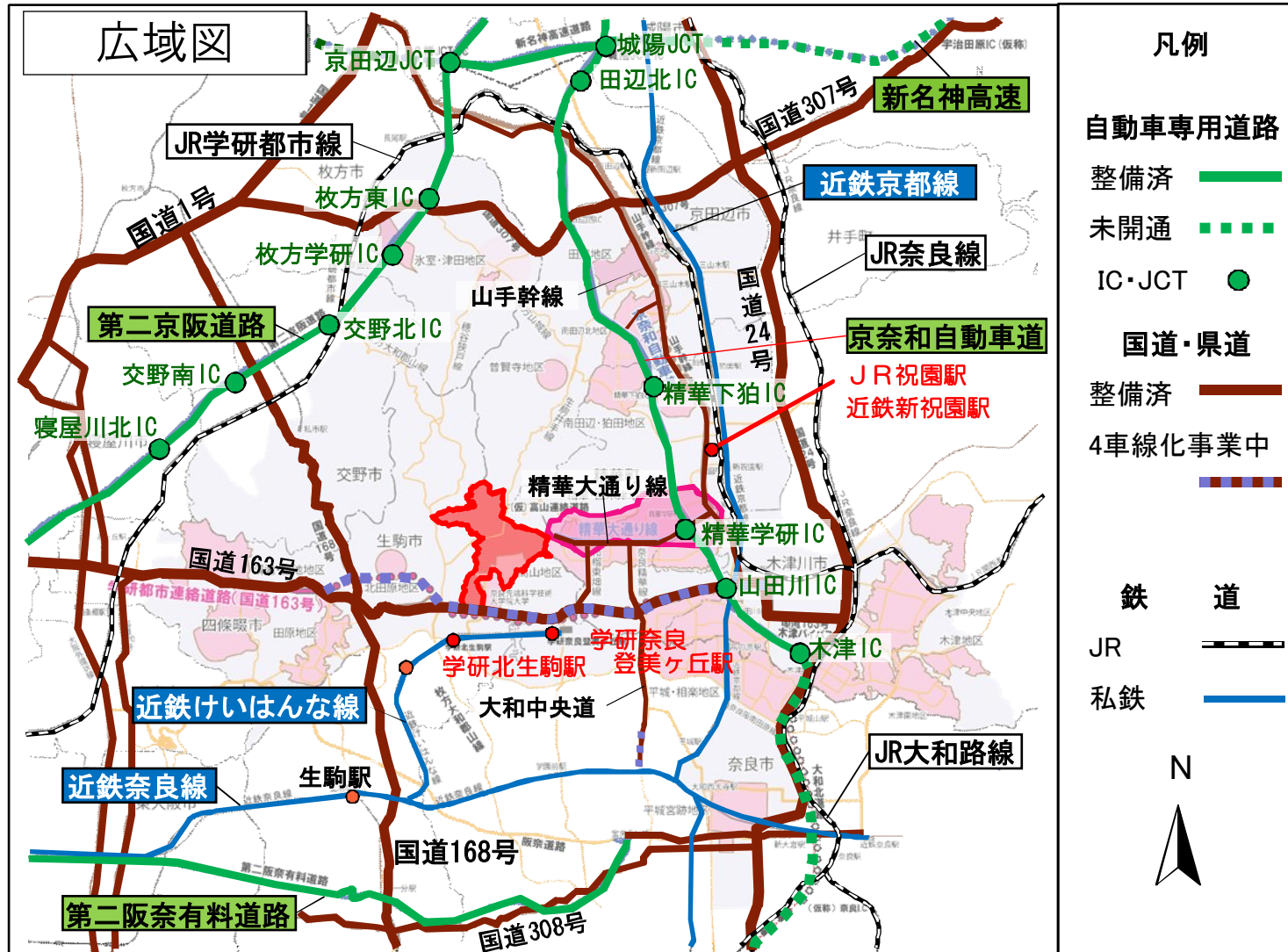


学研高山地区第2工区の 骨格道路について

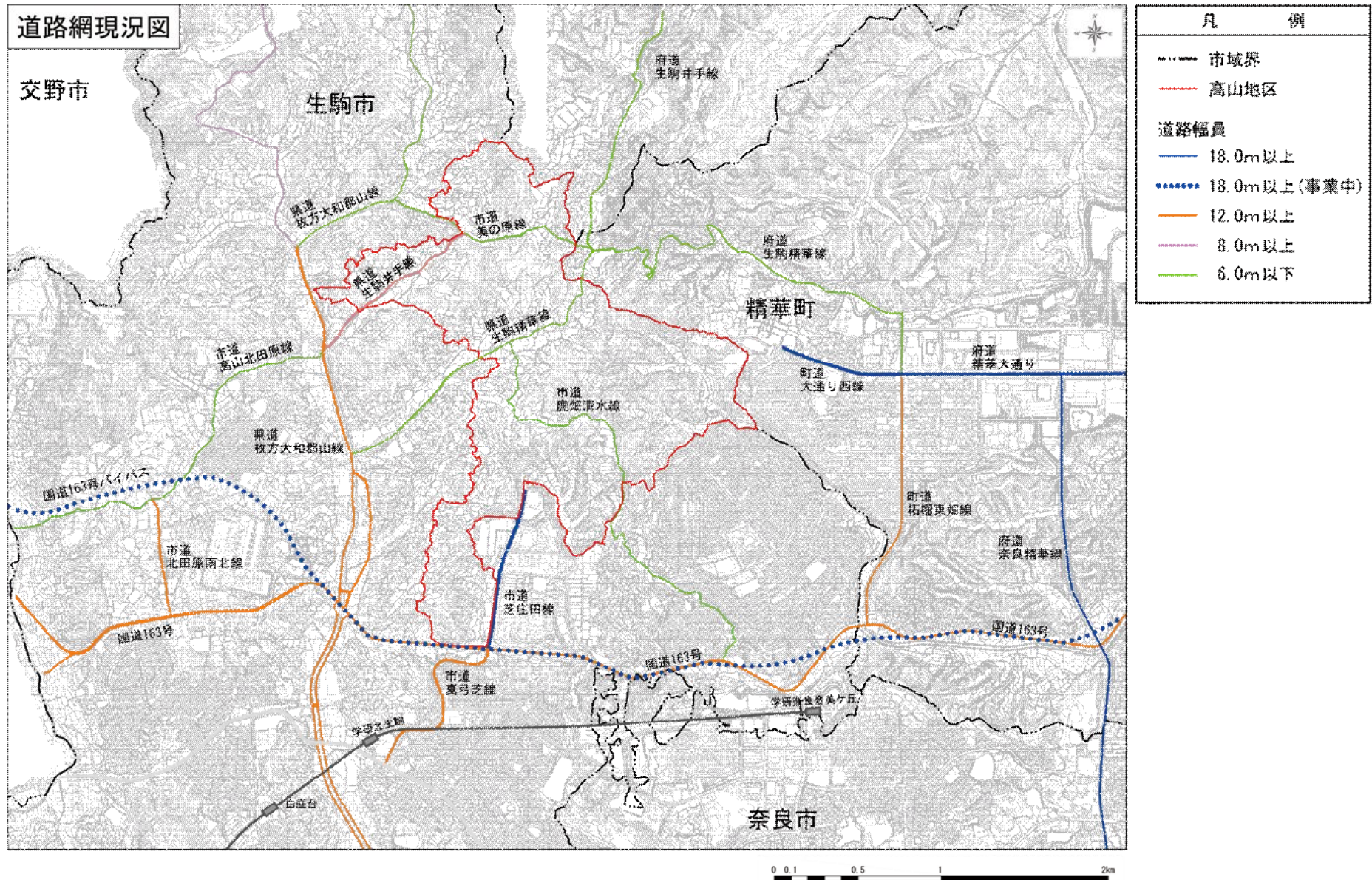
学研高山地区第2工区の骨格道路について

現在の広域交通ネットワーク



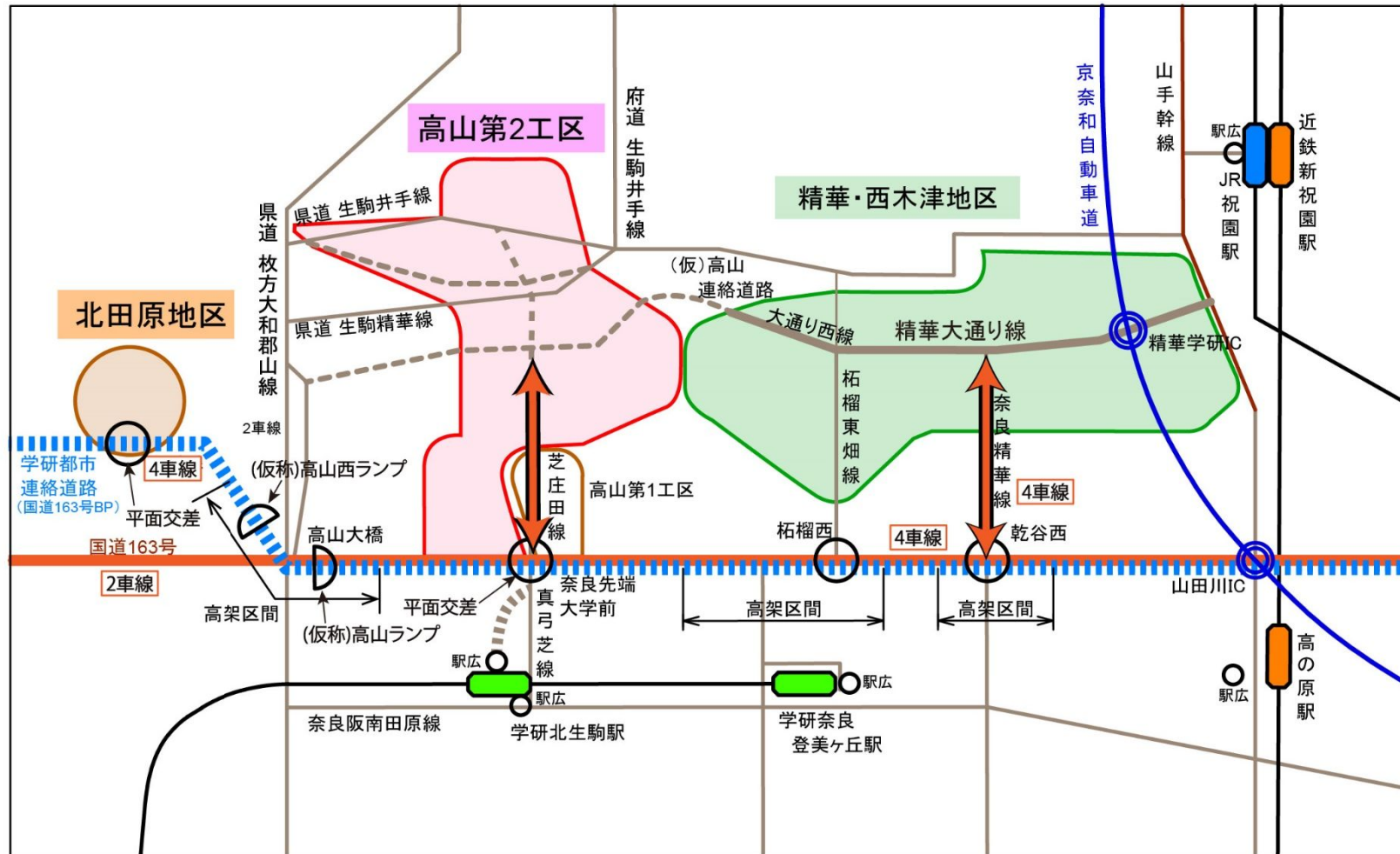
出典：けいはんな学研都市新たな都市創造委員会（第2回総会）資料より作成

学研高山地区第2工区の骨格道路について



学研高山地区第2工区の骨格道路について

国道163号(バイパス)の役割

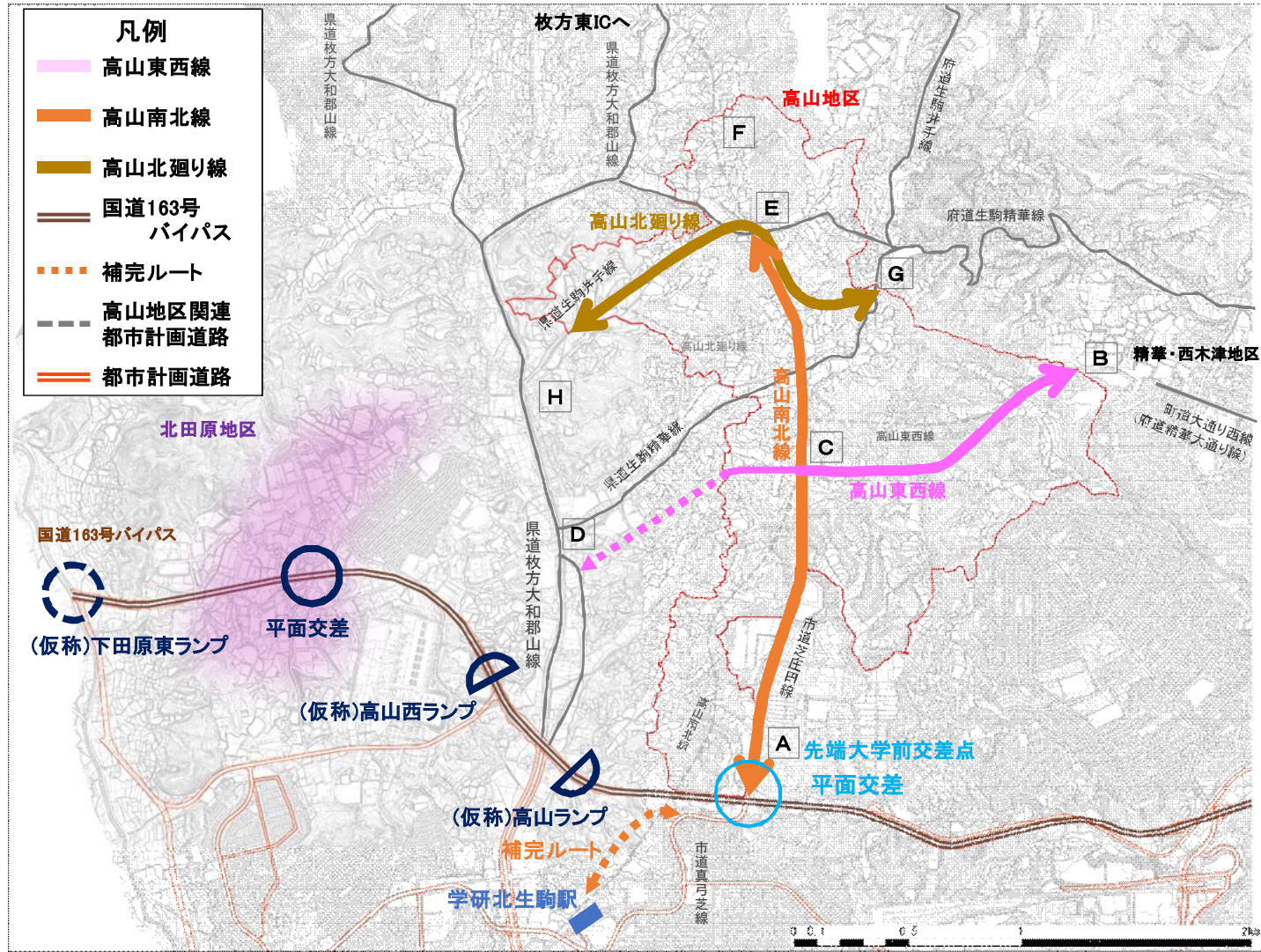


国道163号(バイパス)の役割

- ・広域の物流や交流を分担し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える広域幹線道路
- ・自動車専用道路と同等の規格を有し、概ね60km/h以上の走行サービスを提供

学研高山地区第2工区の骨格道路について

骨格道路の考え方(まとめ)



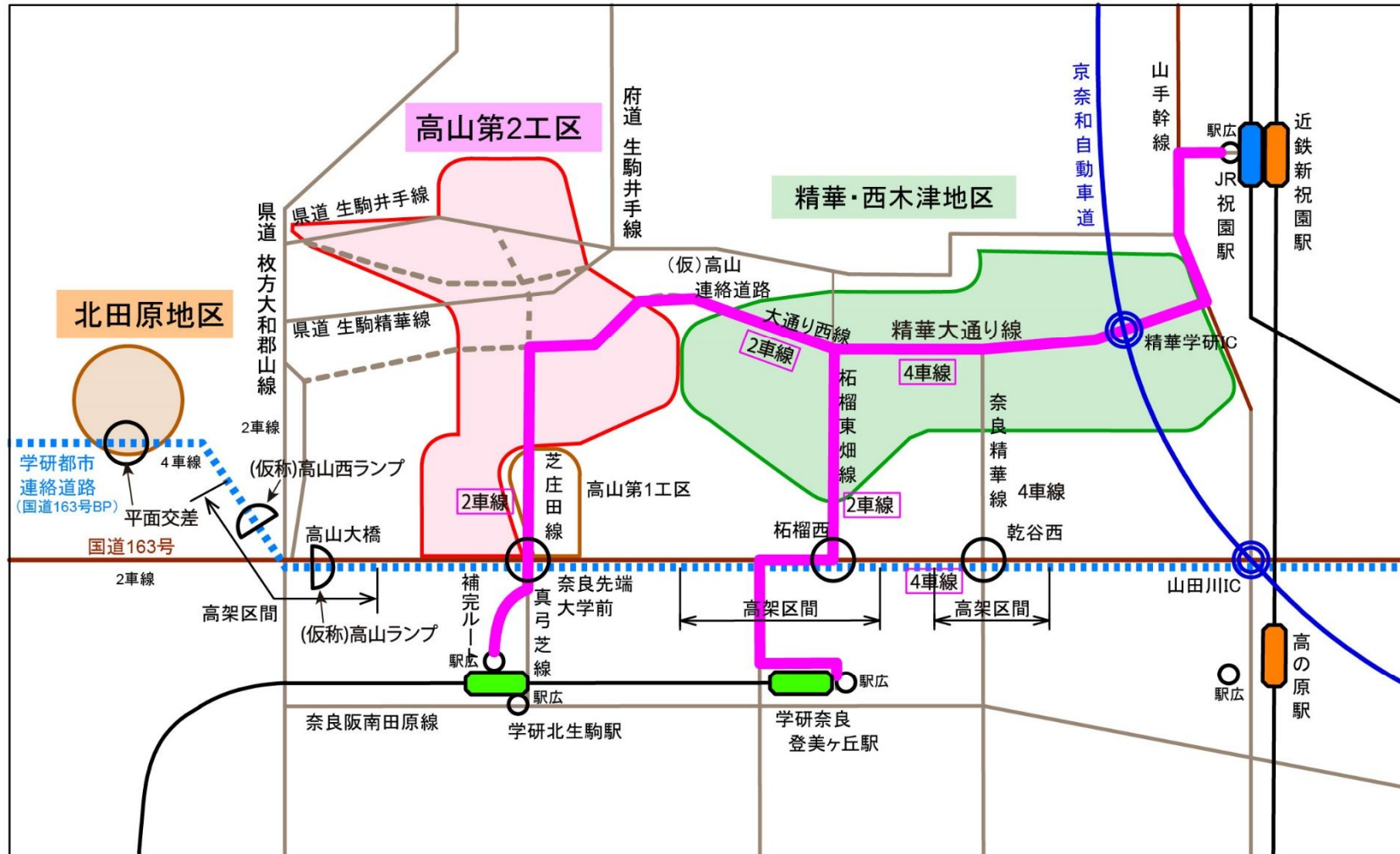
<国道163号>
・広域幹線道路

<県道枚方大和郡山線>
・地域幹線道路

- 区間ごとの性格**
- A~C~B
・地区内の幹線道路
 - C~D
・地区内の幹線道路
※今後、交通量推計により必要性について検証
 - C~E
・地区内の中心的な補助幹線道路
 - G~E~H
・地区内の補助幹線道路
 - ※E~F
・区画道路

学研高山地区第2工区の骨格道路について

公共交通の考え方



■各駅の役割

- 学研北生駒駅 主に高山地区への大阪側の玄関口
- 学研奈良登美ヶ丘駅 主に精華・西木津地区への大阪側の玄関口
- JR 祝園駅・近鉄新祝園駅 主に精華・西木津地区へ京都側の玄関口。高山東西線等により接続された場合には、高山地区へ京都側の玄関口となる。